

## 各球団の総合満足度スコア

### 1. 各球団の総合満足度スコア平均値と平均値に基づくランキング 2023年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	オリックス	74.21	15.36
2位	ヤクルト	73.87	14.25
3位	ソフトバンク	72.92	16.36
4位	横浜DeNA	70.45	15.95
5位	西武	66.75	16.10
6位	阪神	65.92	14.93
7位	楽天	65.82	16.34
8位	ロッテ	65.01	15.13
9位	広島	64.69	15.15
10位	日本ハム	60.97	18.46
11位	巨人	60.33	18.45
12位	中日	51.89	20.38

### 2022年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	75.03	15.68
2位	ヤクルト	73.91	16.71
3位	オリックス	73.35	17.12
4位	ロッテ	72.42	16.56
5位	横浜DeNA	70.76	16.60
6位	楽天	70.00	15.83
7位	阪神	66.80	17.57
8位	西武	65.57	17.62
9位	広島	65.07	17.48
10位	巨人	64.54	17.70
11位	日本ハム	61.70	18.92
12位	中日	55.18	19.15

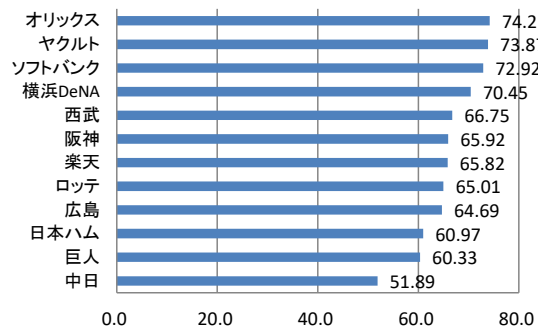
### 2021年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	74.89	19.10
2位	広島	72.81	17.62
3位	西武	71.50	18.41
4位	横浜DeNA	71.23	16.37
5位	楽天	70.14	17.44
6位	ロッテ	68.63	15.87
7位	巨人	68.45	16.15
8位	日本ハム	65.32	17.49
9位	阪神	64.27	18.29
10位	ヤクルト	62.85	18.31
11位	中日	59.59	17.75
12位	オリックス	59.28	18.37

### 2020年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	73.98	13.39
2位	広島	71.98	13.77
3位	西武	71.38	15.85
4位	横浜DeNA	68.93	14.65
5位	巨人	66.19	16.40
6位	楽天	66.04	16.53
7位	日本ハム	64.99	14.98
8位	ロッテ	62.55	13.31
9位	ヤクルト	61.20	13.09
10位	阪神	60.73	15.17
11位	オリックス	54.17	17.00
12位	中日	49.97	17.63

2022年1月下旬調査における各球団の総合満足度スコア平均値のグラフ

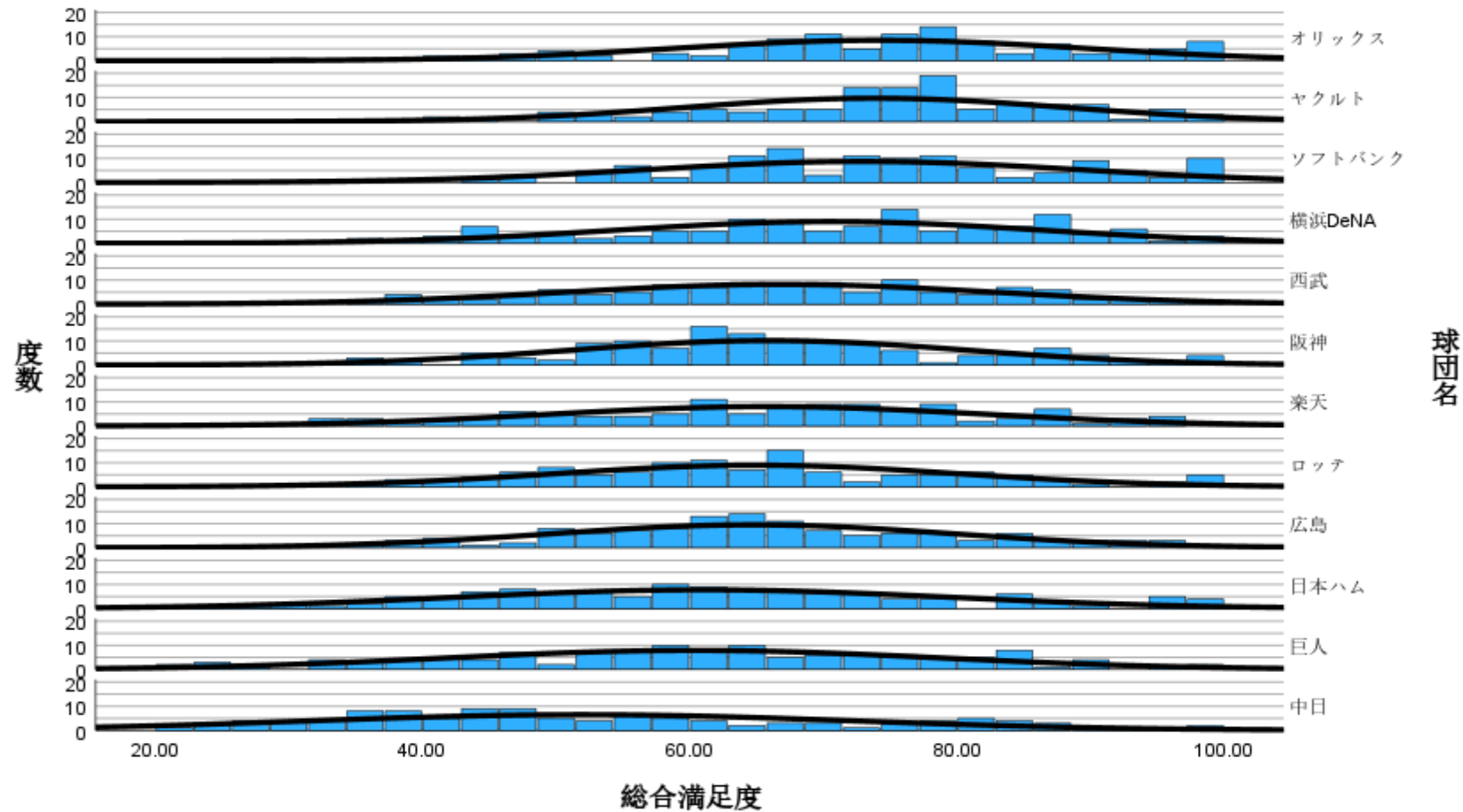


2つの球団のスコア平均値の差の検定: 5.0%最小有意差(l.s.d)の目安

l.s.d =  $1.96 * \sqrt{(2 * 15.0^2 / 120)} = 3.80$   
 ただし、スコアが正規分布に従い、各球団からのサンプリングが独立で、それぞれのサンプル数はn=120、標準偏差はσ=15.0とした場合の値である。

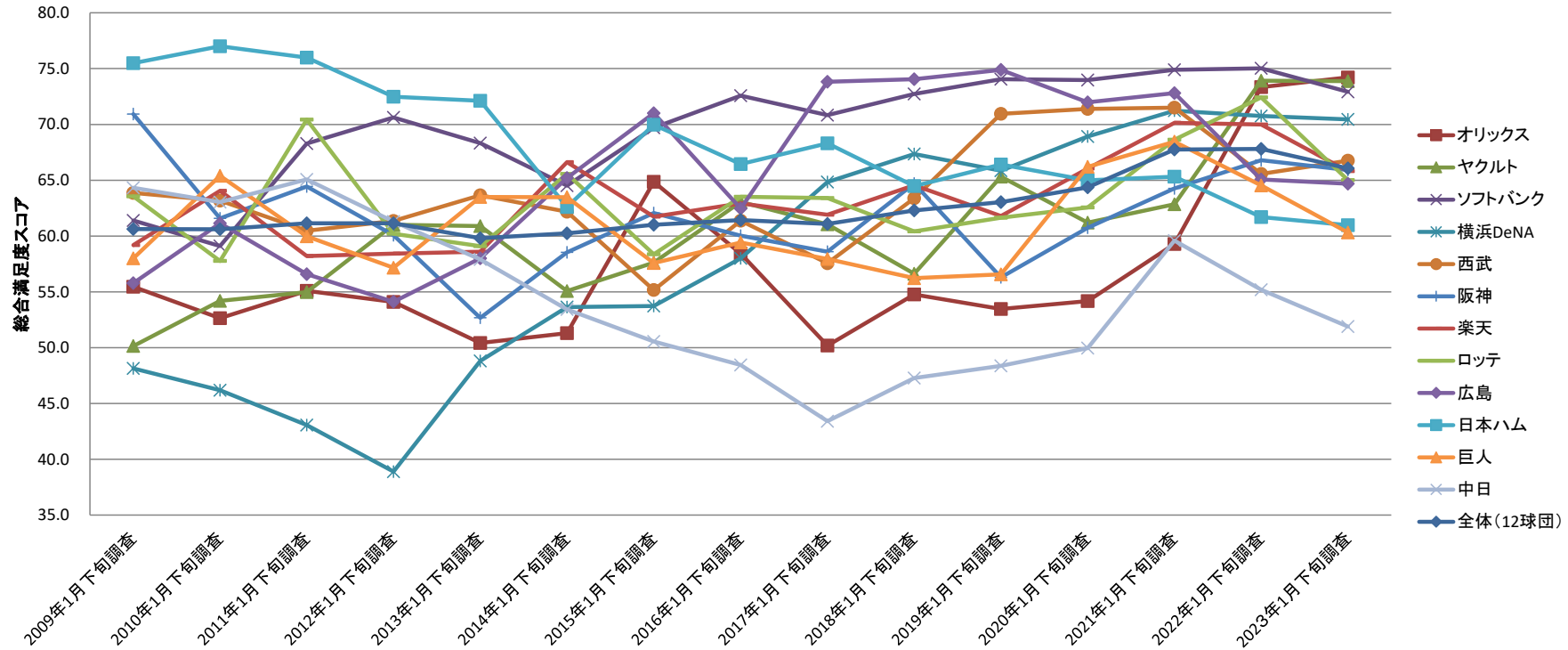
- 総合満足度スコアは、共分散構造分析モデルから求まる「総合満足度の潜在変数スコア」を標準化したものである。
- 具体的には、「総合的な満足度」と「総合的に見た場合の理想への近さ」の2項目の評価に重きを置き、さらに「チーム成績」「チーム選手」「球場」「ファンサービス・地域貢献」「ユニホーム・ロゴ」等の項目の総合満足度への影響度を考慮しながら、各項目の評価の加重平均として算出している。
- これらの項目のウェイト(因子スコア・ウェイト)は、共分散構造分析モデルにもとづき求めている。

2. 各球団の総合満足度スコアの分布（2023年1月下旬調査）



●各球団の総合満足度スコアの分布は、おおむね対称な正規分布に近い形状をしている。  
 ●一方、今回の調査では、全般的に、高評価の回答者の割合が増えている。コロナ禍での特別のシーズンであったことの影響が示唆される。  
 ●各球団の評価については、ソフトバンク、ヤクルト、オリックス、ロッテの順で高評価である。

### 3. 各球団の総合満足度スコア平均値の経年変化



**■オリックス:** 2023年1月下旬調査では総合満足度1位(74.2)となった。2022年シーズンでは、パ・リーグで2連覇、日本シリーズでも勝利し、調査開始以来初の総合満足度が1位となった。「昔から応援していて、最近強いチームにもなり、とても満足している」「チーム強化とファンサービスが充実してきた」などの声が目立った。優勝したことで、オリックスのチームアイデンティティが形成されつつある。  
**■ヤクルト:** 2023年1月下旬調査では総合満足度2位(73.9)となった。2022年シーズンでは、セ・リーグで2連覇、日本シリーズに出場し、総合満足度が高水準で維持された。チーム方針、特に選手力の強化・補強について絶賛する声が目立ち、「チーム成績」、「チーム・選手の魅力」の評価が高水準である。今後、コンスタントに勝つこと、ファンサービスの充実が課題といえる。  
**■ソフトバンク:** 2023年1月下旬調査では総合満足度3位(73.9)となった。2022年シーズンでは、チーム成績はパ・リーグ2位であったが、CSで敗退し日本シリーズへの出場にはならなかった。監督の采配、FAIによる高額年俵の選手獲得で生え抜き選手の出場機会の減少を危惧する声が見られた。一方、球場でのファンサービス、地域貢献活動の取り組みも良いとされ、継続して、チーム・選手の魅力、ファンサービス・地域貢献などが高い評価を得ており、総合力で高水準を維持している。  
**■横浜DeNA:** 2023年1月下旬調査では4位(70.5)となった。ファン目線のイベントや球場の雰囲気や過ごしやすさを絶賛する声が目立った。一方、チーム成績や方針について、勝利(優勝)を望む声が多く、選手補強の必要性の意見も見られた。今後、ファンサービスの維持・向上を継続し、チーム力強化と優勝することが課題といえる。